

平成 26 年度小松川大会・大会要項

1. 本大会は、トーナメント方式とする。
2. 試合は7回戦とし、1時間45分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
ただし、決勝戦は7回戦で時間無制限とする。(コールドゲームは適用)
3. 7回終了、又は時間切れ同点の場合は、サドン方式を採用する。
サドン方式は、無死満塁のサドン方式(最終メンバーの継続打順)により1イニング行う。なお、同点の場合は再度サドン方式を行う。2回行っても勝敗が決定しない場合は、最終メンバー9人の抽選により決定する。
4. コールドゲームを採用する。本大会は、3回15点・4回10点・5回7点差でコールドゲームとする。なお、強風・降雨・日没等の場合は4回にて試合成立とする。(後攻チームがリードしている場合は、4回表終了にて成立する)
5. 投手の投球制限については、健康維持を考慮し、1日7イニングまでとする。
6. ベンチ入りは、代表者、保護者代表、監督、コーチ2名、スコアラー1名、選手は20名とする。また、ベンチは抽選番号の若い番号を1塁側とし、先行・後攻はジャンケンにて決定する。
7. 試合前の、守備練習を後攻のチームより5分間交代で行う。(チームの選択権あり)
8. チーム応援は、所定の場所で行う。
9. 抗議権は、当該選手及び監督とする。
10. 選手登録
 - ◎ 登録は、選手20名以内とし背番号は27番以内とする。監督は30番、主将は10番とし、コーチは29・28番を付けること。
 - ◎ 選手及び監督コーチは、ユニホーム・スパイク・帽子・ストッキングは統一したものを着用すること。
 - ◎ 試合開始40分前までに集合し、開始30分前までに大会本部にメンバー表を提出すること。
*登録後は、グラウンド内には、30・29・28番以外は入れません。
 - ◎ 選手全員スポーツ保険に加入していること。
11. 参加チームは、単独チームとし、一切の補強を認めない。
12. ヘルメットは、必ず8個以上用意すること。また、捕手用用具(JSBB)は必ず着用すること。
13. 金属バットは、全軟連公認(JSBB)のものに限る。
14. 試合中の選手交代は迅速に行うこと。また、ランナーコーチは選手とする。
15. ランナーコーチは、ベンチからヘルメットを着用してコーチアスボックスへ行くこと。
また、ボールボーイもヘルメットを着用すること。(審判へのボール渡しは着帽のままでよい)
16. 投球練習の際、キャッチャーは必ずマスク・捕手用用具を着用すること。また、2回以降のキャッチャーの声かけは、定位置で行うこと。
17. 上記に記載されていない方法と規則は、全軟連規則を準用し、特別ルールは本連盟にて決定し実行する。
18. ベンチ等での声援については、子供たちのお手本となるようにすること。
グラウンド周辺では禁煙の徹底と自転車走行への安全の確保、並びに、ごみ等は必ず持ち帰ること。